



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,252	14.5	△762	—	△516	—	△686	—
2022年3月期第1四半期	8,081	63.1	△644	—	△154	—	△271	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,739百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 △296百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△19.88	—
2022年3月期第1四半期	△7.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	105,112	91,363	86.9
2022年3月期	101,809	88,795	87.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 91,328百万円 2022年3月期 88,761百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,500	35.9	100	—	300	—	100	—	2.90
通期	47,000	51.6	1,000	—	1,600	—	1,200	—	34.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	35,800,000株	2022年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,285,441株	2022年3月期	1,285,281株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	34,514,670株	2022年3月期1Q	34,511,434株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済の動向は、新型コロナウイルスの感染が長期化する中、米国ではインフレ抑制に向けた積極的な金融引き締めによる景気後退の懸念が高まり、欧州ではウクライナ情勢長期化に伴う深刻な資源高により企業活動が鈍化しています。中国では感染拡大阻止に向けたロックダウンにより企業活動や個人消費が停滞し、景気減速感が鮮明になっています。わが国においては資源高と円安の進行による原材料コストの増加が企業収益の低下要因となり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づきホールガーメント横編機の拡販、ソリューションビジネスの拡大などサステナブルなもの創りを支援する製品・サービスの提案活動を世界各地の顧客、業界に向けて展開しました。また6月にドイツ・フランクフルトで開催されたテクニカルテキスタイル業界における国際展示会「Techtextil 2022」では、産業資材向け編機のプロトタイプ機やサンプルを出展し、ビジネスの可能性を訴求すると同時に新たな市場へのアプローチを推進しました。

当社のコア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では、中国市場において上海のロックダウンなどゼロコロナ政策にともなうサプライチェーンの混乱を受け生産活動や設備投資が停滞する一方で、香港系大手顧客においては設備更新需要が高まり生産効率の高い「N. SVR」を中心に販売が増加するなど、まだら模様の推移となりました。また先進国向けニット製品の生産拠点であるバングラデシュ等において大手アパレルからの受注が回復傾向となり売上が伸長しました。欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリア市場において、経済活動の再開にともない設備投資が活発化し、ホールガーメント横編機や高いデザイン性を発揮する成型編機を中心に需要が増加しました。中東のトルコ市場においては、欧州アパレルからの受注による設備投資が活発となりコンピュータ横編機を中心に売上高が伸長しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は69億6百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、SDS-ONE APEXソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXfiz」が欧米、国内アパレルブランドを中心にライセンス契約数が伸長しました。また自動裁断機「P-CAM」については海外を中心に販売が増加し、売上高は6億72百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が一巡し、売上高は2億21百万円（前年同期比72.4%減）となりました。その他事業につきましては、売上高は14億52百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間全体の売上高は92億52百万円（前年同期比14.5%増）となりました。各国の経済活動の再開にともない設備投資需要は総じて回復基調にありますが、原材料の供給逼迫により、引き合いが強い中でも受注に結びつけられない状況が継続しております。利益面におきましては、継続的なコスト削減や生産性の向上に努めましたが、コロナ禍を背景とした部品や原材料価格の高騰により売上総利益率が低下し、さらに世界的な海運輸送費の高騰等にもない営業損失は7億62百万円（前年同期は営業損失6億44百万円）となりました。営業外において貸倒引当金戻入益の計上等により経常損失5億16百万円（前年同期は経常損失1億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失6億86百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億71百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加などで前期末に比べ33億3百万円増加し、1,051億12百万円となりました。負債合計は買掛債務の増加などで前期末に比べ7億35百万円増加し、137億49百万円となりました。また自己資本の額は、913億28百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.3ポイント低下し86.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日に発表しました2023年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,339	22,906
受取手形及び売掛金	39,498	42,260
商品及び製品	6,575	7,089
仕掛品	1,073	1,512
原材料及び貯蔵品	7,449	7,682
その他	998	1,283
貸倒引当金	△5,399	△5,133
流動資産合計	74,536	77,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,919	6,856
土地	6,399	6,400
その他（純額）	2,932	2,994
有形固定資産合計	16,250	16,250
無形固定資産		
のれん	1,967	2,065
その他	147	149
無形固定資産合計	2,114	2,214
投資その他の資産		
投資有価証券	5,417	5,443
退職給付に係る資産	1,211	1,210
繰延税金資産	503	526
その他	3,407	4,225
貸倒引当金	△1,631	△2,361
投資その他の資産合計	8,907	9,045
固定資産合計	27,273	27,511
資産合計	101,809	105,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,207	2,311
電子記録債務	499	623
リース債務	965	937
未払法人税等	327	318
契約負債	1,090	1,082
賞与引当金	707	1,482
債務保証損失引当金	201	199
その他	2,189	2,171
流動負債合計	8,188	9,127
固定負債		
長期末払金	947	947
リース債務	1,746	1,543
繰延税金負債	543	536
退職給付に係る負債	1,298	1,305
その他	289	290
固定負債合計	4,825	4,621
負債合計	13,013	13,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,423	23,423
利益剰余金	51,541	50,682
自己株式	△3,925	△3,925
株主資本合計	85,899	85,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382	397
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	2,630	6,041
退職給付に係る調整累計額	△184	△184
その他の包括利益累計額合計	2,862	6,288
新株予約権	16	16
非支配株主持分	17	18
純資産合計	88,795	91,363
負債純資産合計	101,809	105,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,081	9,252
売上原価	5,175	6,062
売上総利益	2,906	3,189
販売費及び一般管理費	3,550	3,952
営業損失(△)	△644	△762
営業外収益		
受取利息	87	47
受取配当金	69	77
貸倒引当金戻入益	279	50
その他	121	95
営業外収益合計	558	270
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	20	3
固定資産賃貸費用	9	9
その他	24	1
営業外費用合計	67	24
経常損失(△)	△154	△516
税金等調整前四半期純損失(△)	△154	△516
法人税、住民税及び事業税	94	155
法人税等調整額	21	13
法人税等合計	116	169
四半期純損失(△)	△270	△686
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△271	△686

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△270	△686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	14
為替換算調整勘定	79	3,411
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△25	3,425
四半期包括利益	△296	2,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△296	2,739
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	5,396	649	800	6,847	1,179	8,026
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	55	55
顧客との契約から生じる 収益	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
外部顧客への売上高	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
セグメント利益	516	148	55	720	174	895

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	720
「その他」の区分の利益	174
全社費用(注)	△1,540
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△644

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	6,906	672	221	7,800	1,416	9,216
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	35	35
顧客との契約から生じる 収益	6,906	672	221	7,800	1,452	9,252
外部顧客への売上高	6,906	672	221	7,800	1,452	9,252
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,906	672	221	7,800	1,452	9,252
セグメント利益又は 損失(△)	510	121	△25	606	257	863

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	606
「その他」の区分の利益	257
全社費用(注)	△1,626
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△762

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 【関連情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,556	2,368	264	3,508	383	8,081

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,460	2,403	859	3,980	548	9,252

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

### 3. 補足情報 受注及び販売の状況

#### ①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	8,498	51.9%	7,226	84.8%
デザインシステム関連	1,033	27.8%	793	97.6%
手袋靴下編機	194	△76.6%	166	△70.6%
合計	9,726	34.4%	8,186	67.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### ②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	6,906	28.0%
デザインシステム関連	672	3.6%
手袋靴下編機	221	△72.4%
その他	1,452	17.6%
合計	9,252	14.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。